

報道関係各位

件 名 特別展 「飯能縄市 ～近世の市と市街地の発展～」について

1 概要

- ・会期 令和 3 年 10 月 17 日（日）から令和 3 年 12 月 12 日（日）まで
- ・会場 飯能市立博物館特別展示室・展示ホール

2 内容

本展は、飯能の中心市街地の歴史をひもとくことで、飯能の町の魅力を再発見しようとするものです。

飯能の市街地の起源は、1700 年代中頃に現在の大通りで開かれた定期市「飯能縄市」に遡ります。「縄市」といわれたのは、縄や筥の取引から始まったからといわれています。

飯能の場合、市は月 6 回（6・10・16・20・26・29 日）開かれ、その日は近隣から商人や村に住んでいる人たちが集まり賑わっていたようです。しかし、残っている資料が少ないため江戸時代の飯能縄市の具体的な姿はよくわからないのが現状です。

そこで、他地域の室田（群馬県高崎市）や小川（埼玉県小川町）の市の様子を描いた絵図や、市の境に立てられる「市杭」（群馬県中之条町）などを展示し、江戸時代の市の様子をイメージしてもらえるようにします。さらに会場には明治 44（1911）年 12 月に撮影された飯能の大通りの賑やかな様子をジオラマで再現し、今から 110 年前の飯能の町にタイムスリップしたかのように展示します。

会期中は、江戸時代の市や飯能縄市についての講演会、飯能の町に残る歴史的建造物をめぐる見学会を実施いたします。

なお、本展は新型コロナウイルス感染症対策を講じて開催いたします。ご来場の際はご協力をお願いいたします。

担当者 博物館長 尾崎
連絡先 Tel (042) 972-1414